

## クリスチャンについて

### 1. どの時点で「自分はクリスチャンになった」と言えるのでしょうか

クリスチャンになるのは単純な“取り引き”です。心からイエスさまに「主よ、私の代わりに死んでくださって、ありがとうございました。私を赦して、清めて、救ってください」と祈る瞬間、クリスチャンになります。ほとんどの人には、悪魔が「うそだったでしょう」とささやきます。そんな偽りに耳を貸さないで！ クリスチャンらしく行動するには時間がかかるかもしれませんが、クリスチャンになるのはその決心の瞬間です

### 2. クリスチャンに禁じられていることは何ですか

より良い質問は、「クリスチャンは何をできますか」。クリスチャンは毎日神さまの平安と喜びのただ中に生きる事ができます。クリスチャンに聖霊さまがいます。聖書には「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です」と書いています。しかし、そんな生活を生きるために、聖霊を悲しませることをやめなければなりません。偽り、不道徳、傲慢、野心、憎しみ、そんなことは聖霊を悲しませます。合理的に考えると、聖霊さまを喜ばしたい、ね！

### 3. クリスチャンになったら、仏壇や墓参りはどうすればいいのでしょうか

これは確かにクリスチャンにとって大きな問題です。先祖を尊敬するのは悪くないが、神さま以外に何も拝んだらいけません。墓周りの掃除などは問題ないですが、焼香は避けなければなりません。家族に説明をするのは難しいですが、同時に証詞するチャンスです。死に対する考えとキリストにある望みを伝える事ができます。あなたが世帯主であれば、仏壇をなくすべきです。世帯主でなかったら、強引にはできませんが、先祖を拝むのは偶像礼拝です。法事などに参加したらいけないと言いますが、手を合わせたり、焼香すれば神さまに栄光を帰すことができません

### 4. クリスチャンになることを家族や恋人にどのように打ち明ければ良いですか

不安だと思いますが、伝道の大きなチャンスです。まず、自分の決心を紙に書くことは有用です（バプテスマの際と、時には信仰告白に使えます）。そうすると、自分の考えを整理できます。もちろん、そうする前にも、後にも祈ることが大切です。聖霊の助けが必要です！ そして、神さまのタ

イミングを見計る。時には、神さまが「今だ」とはっきり示してくださいますが、時にはそれがありません。明確なタイミングの導きがなければ、二つの助言があります。まず、あまり延期しない方が良い。延期するほど、難しくなる場合があります。もう一つのポイントは、食前より食後の方が、感情が穏やかです

## 5. クリスマスはタバコや酒などの嗜好品は禁じられてるの

聖書には「私たちの体は神さまの神殿である」と書いています（第1コリント6章19節）。体に良くない事は、神さまの神殿に害を与えます（食べ過ぎと運動不足も良くない、ね!）。タバコのことは聖書に書いていない（アメリカ大陸原産ですから）ですが、酒についてはいろいろ書いています。エペソ5章18節には「酒に酔うな。それは放蕩（欲望に対し極端に墮落した状態）につながる」と書かれています。しかし第一テモテ5章23節には「少しワインを飲むのは胃のためです」と書かれています。詩篇104編15節には「人の心を嬉しくするワイン」を造ったのは神さまと書かれています。しかし箴言20章1節には「ぶどう 酒は、あざける者。強い酒は、騒ぐ者。これに惑わされる者は、みな知恵がない」とあります。

箴言23、31章、イザヤ書28章にはワインとビールは正しい判断を出来なくさせると書かれてあります。ローマ14章16～23節には、キリストにある兄弟姉妹をつまずかせない責任があるとあります。誰かに飲むように勧めて、その人がその部分に弱さがある場合、その人に起こることの責任を、神さまは私たちに問います